

**京都市**  
**放課後の過ごし方に関する調査**  
**(総合支援学校用)**  
**【結果報告書】**  
**(概要版)**

令和元年 6 月  
京都市

## 1 調査概要

### (1) 目的

児童・生徒の放課後の過ごし方の実態を把握するとともに、学童クラブ機能、放課後等デイサービスの利用状況や利用ニーズ、地域ごとの状況を把握し、今後の本市の放課後児童施策の充実に向けた基礎資料とすること。

### (2) 調査設計

調査対象者：総合支援学校に通うすべての児童・生徒の保護者

調査期間：平成30年9月14日～9月28日

調査方法：学校を通じた配布，郵送回収

### (3) 実施状況

	調査対象者（配布数）	有効回収数	有効回収率
放課後の過ごし方に関する調査（総合支援学校用）	1,133件	475件	41.9%

（学校区分の内訳）

	配布数	有効回収数	有効回答率
小学部	251件	120件	47.8%
中学部	201件	83件	41.3%
高等部	681件	256件	37.6%
不明	—	16件	—

### (4) 報告書の見方

- ・ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ・ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- ・ 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、又は回答の判別が困難なものです。
- ・ 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- ・ 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- ・ 設問によっては、結果を詳細に分析するため、クロス集計表を掲載しています。

## 2 主な調査結果

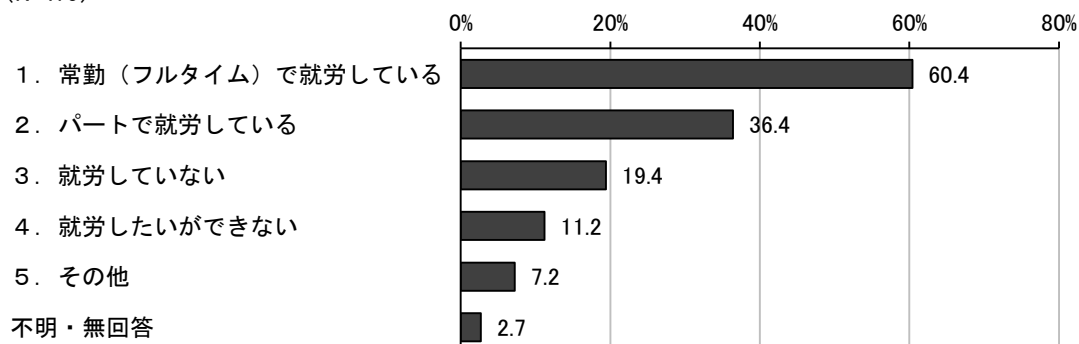
### (1) 子どもと保護者の現在の状況について

#### ア 保護者の就労状況（問3）

「常勤（フルタイム）で就労」の割合が約6割、「パートで就労している」が3割台半ばとなっています。

一方、3割の保護者が「就労していない」，「就労したいができない」と回答しています。

(N=475)

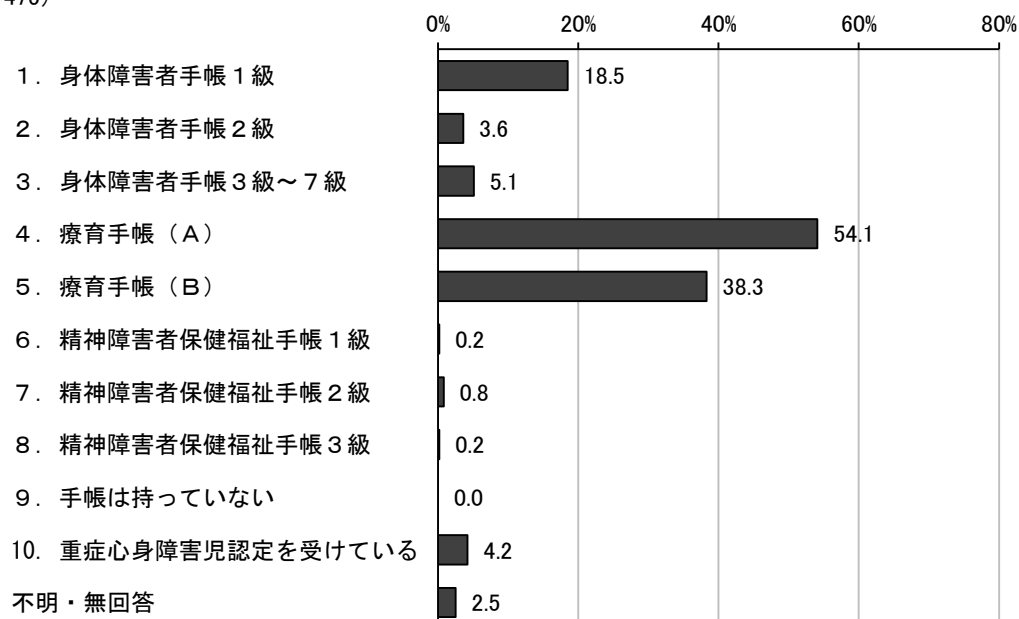


#### イ 子どもの障害者手帳所持状況（問4）

「手帳は持っていない」は回答数が0.0%となっており、「不明・無回答」を除くとすべての児童・生徒が何らかの障害者手帳を所持しています。

所持している手帳の種類では、療育手帳（A・B）の割合が9割以上、次いで身体障害者手帳1級の割合が2割弱となっています。

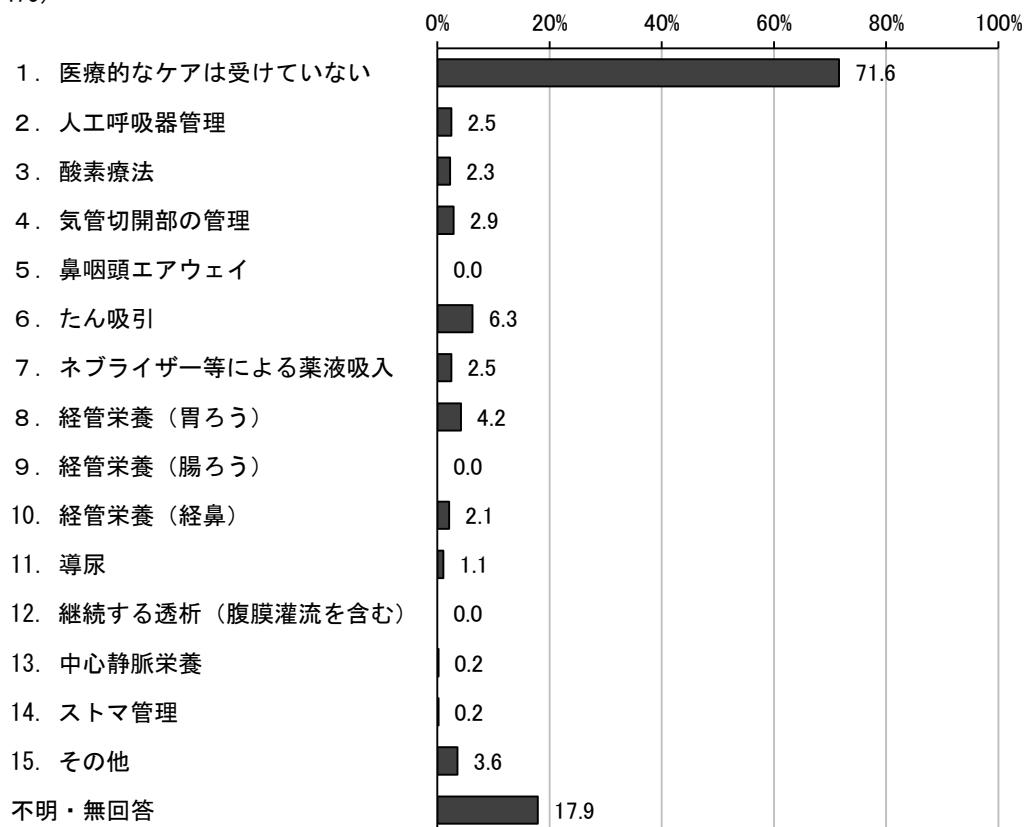
(N=475)



## ウ 子どもの医療的ケアの有無（問5-1）

「医療的ケアは受けていない」が約7割となっている一方、1割程度の方が何らかの医療的ケアを受けています。医療的ケアの内訳では、「たん吸引」、  
「経管栄養（胃ろう）」が順に多く挙げられています。

(N=475)



## エ 医療的ケアの必要な家庭のニーズ（問5-2，自由記述）

全49件の回答のうち、主な内容として「通所可能な放課後等デイサービスが少ない」，「サービス利用が制限される」等の福祉サービスの利用制限に関するものが14件，レスパイトの不足に関するものが6件，保護者の介護負担に関するものが4件，「スクールバスでの送迎」や「学校での医療行為の制限」等，学校での支援に関するものが2件挙げられている。

## (2) 放課後の過ごし方について

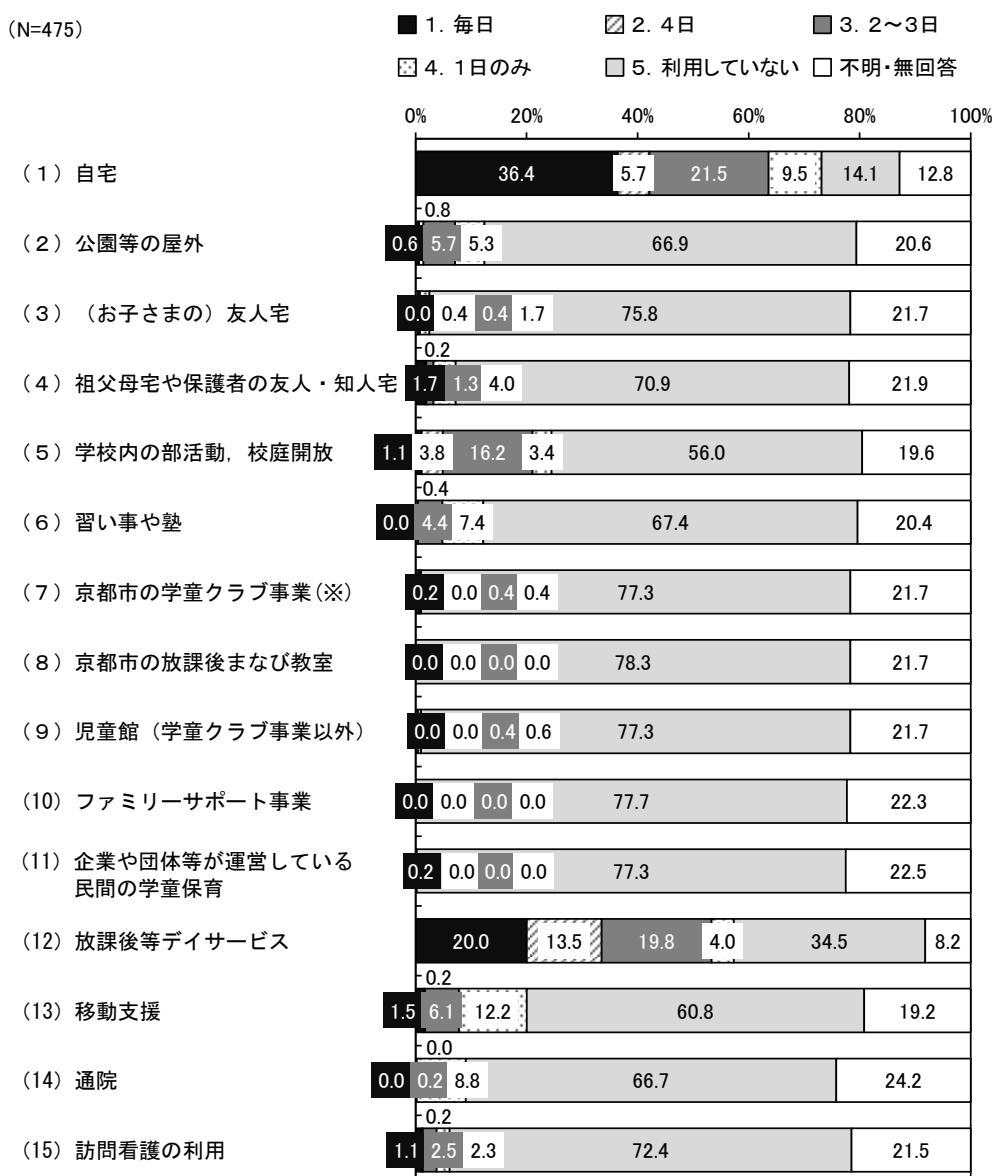
### ア 平日の放課後の過ごし方（問6(1)）

自宅のほか、放課後等デイサービス、学校内の部活動、校庭開放が多くなっています。

「毎日」の割合では、「自宅」で過ごしている児童・生徒は3割台半ば、次いで「放課後等デイサービス」では2割となっています。

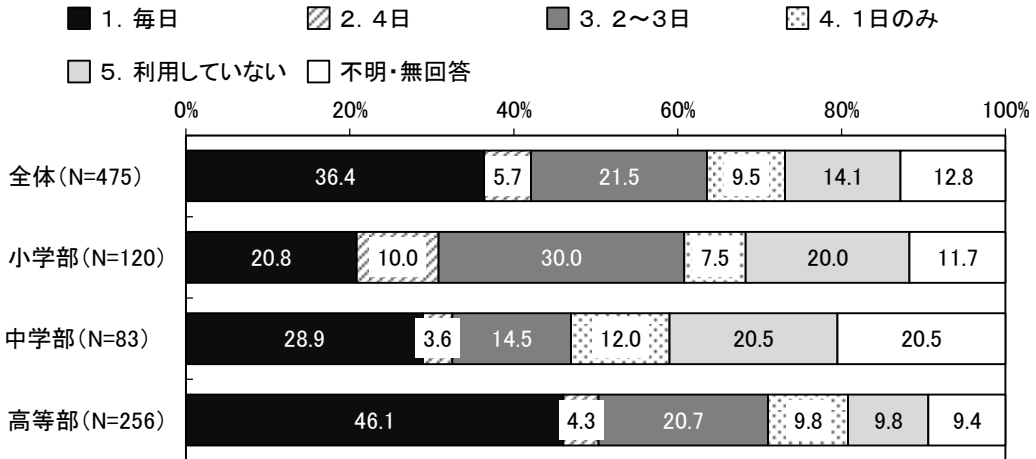
一方、学童クラブ事業やそれ以外の児童館、民間の学童保育を利用している児童は1%程度にとどまっています。

自宅で過ごしている児童・生徒を学校区分別にみると、学校区分が上るほど「毎日」の割合が高くなっています。



※本調査では学童クラブ事業に、放課後ほっと広場の学童クラブ機能(ゆうゆうクラブ)を含みます。

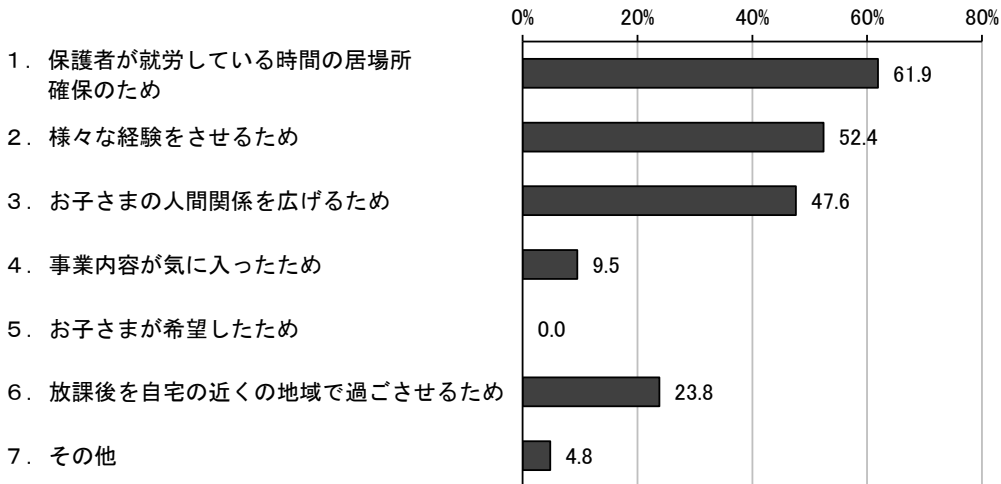
**自宅 × 学校区分別**



**イ 学童クラブの利用理由（問7）**

「保護者が就労している時間の居場所確保のため」が約6割と最も高くなっている一方、「様々な経験をさせるため」、「子どもの人間関係を広げるため」といった、子どもの成長につながる理由も多く挙げられています。

(N=21)



※不明・無回答除く

**京都市の学童クラブ事業の利用頻度別**

上段:件数 下段:%	合計	保護者が就労している時間の居場所確保のため	様々な経験をさせるため	お子さまの人間関係を広げるため	事業内容が気に入ったため	お子さまが希望したため	放課後を自宅の近くの地域で過ごさせるため	その他
全体	21 100.0	13 61.9	11 52.4	10 47.6	2 9.5	0 0.0	5 23.8	1 4.8
学童クラブ事業 利用頻度別	2~3日	2 100.0	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
	1日のみ	2 100.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	利用していない	7 100.0	6 85.7	3 42.9	1 14.3	1 14.3	0 0.0	1 14.3

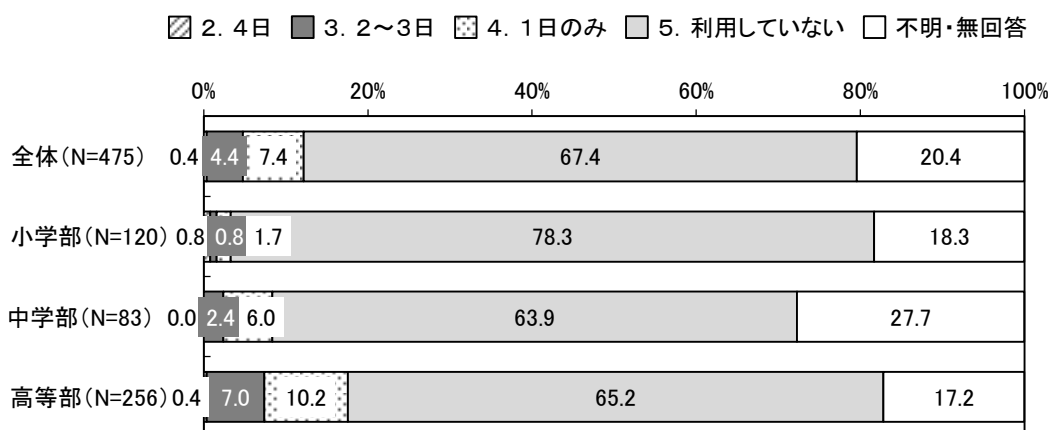
※不明・無回答除く

### (3) 習い事や塾について

#### ア 習い事や塾の状況 (問6(6))

約1割の児童が習い事や塾に通っており、学校区分が上るほど利用割合が増加しています。習い事や塾に通わせている理由(問9)では、「様々な経験をさせるため」が4割台半ばと最も多く挙げられています。

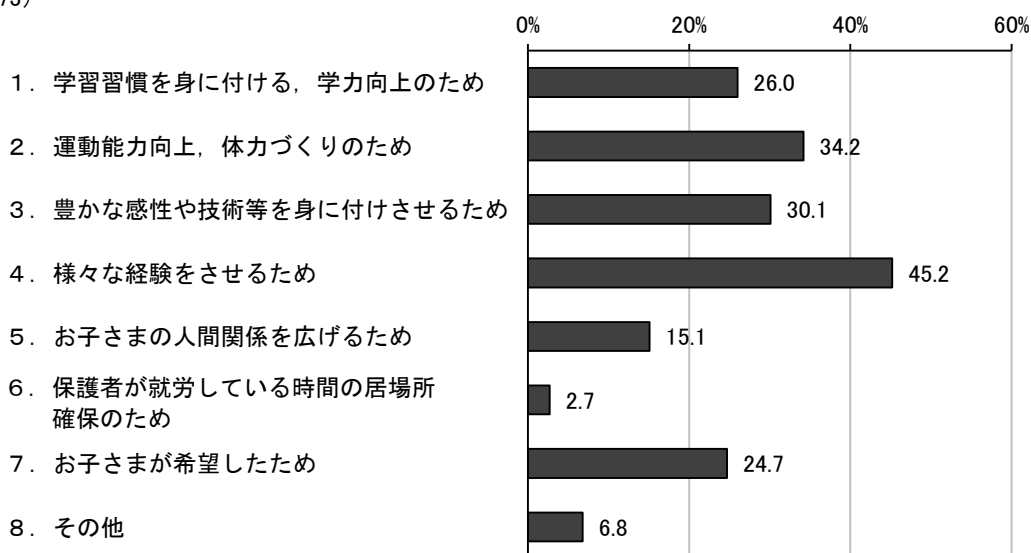
#### 習い事や塾 × 学校区分別



※「1. 毎日」は回答がなかったため省いています。

#### 【習い事や塾に通わせている理由】

(N=73)



※不明・無回答除く

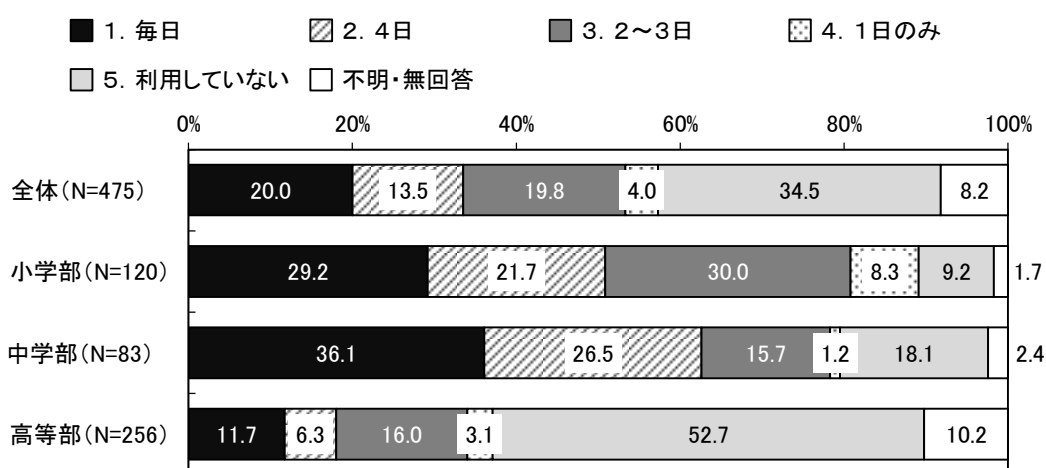
#### (4) 放課後等デイサービスについて

##### ア 放課後等デイサービスの利用頻度（問6(12)）

放課後等デイサービスを利用している児童・生徒においては、「毎日」利用している割合が最も高くなっています。

また、学校区分別の利用状況をみると、「小学部」では「2～3日」，「中学部」では「毎日」，「高等部」では「利用していない」の割合が最も高くなっており、学校区分が上がるほど利用割合が低く、高等部の利用割合は小学部の半分以下となっています。

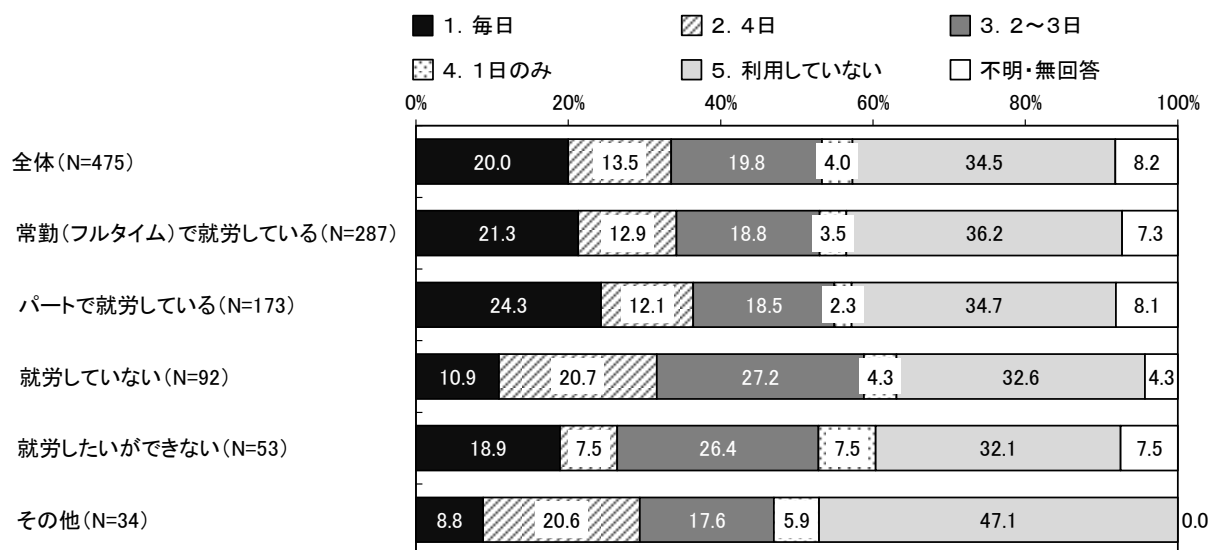
放課後等デイサービス × 学校区分別



##### イ 保護者の就労状況（問6(12)）

放課後等デイサービス利用児童・生徒のうち、保護者が「常勤（フルタイム）で就労している」，「パートで就労している」においては、「毎日」の割合が他の区分と比べて高くなっています。

放課後等デイサービス × 保護者の就労状況別





## ウ 医療的ケア児の利用頻度（問6(12)）

放課後等デイサービスを利用している児童・生徒における利用頻度について、医療的ケアを受けていない児童は「毎日」の割合が最も高くなっている一方、医療的ケアを受けている児童は「2～3日」利用又は「利用していない」の割合が高くなっています。

人工呼吸器管理，酸素療法，気管切開部の管理，導尿が必要な場合は「利用していない」が最も高く，たん吸引，ネブライザー等による薬液吸入，経管栄養が必要な場合は「2～3日」が高くなっており，医療的ケアの内容によっても利用頻度に差が出ています。

### 放課後等デイサービス × 医療的ケアの内容別

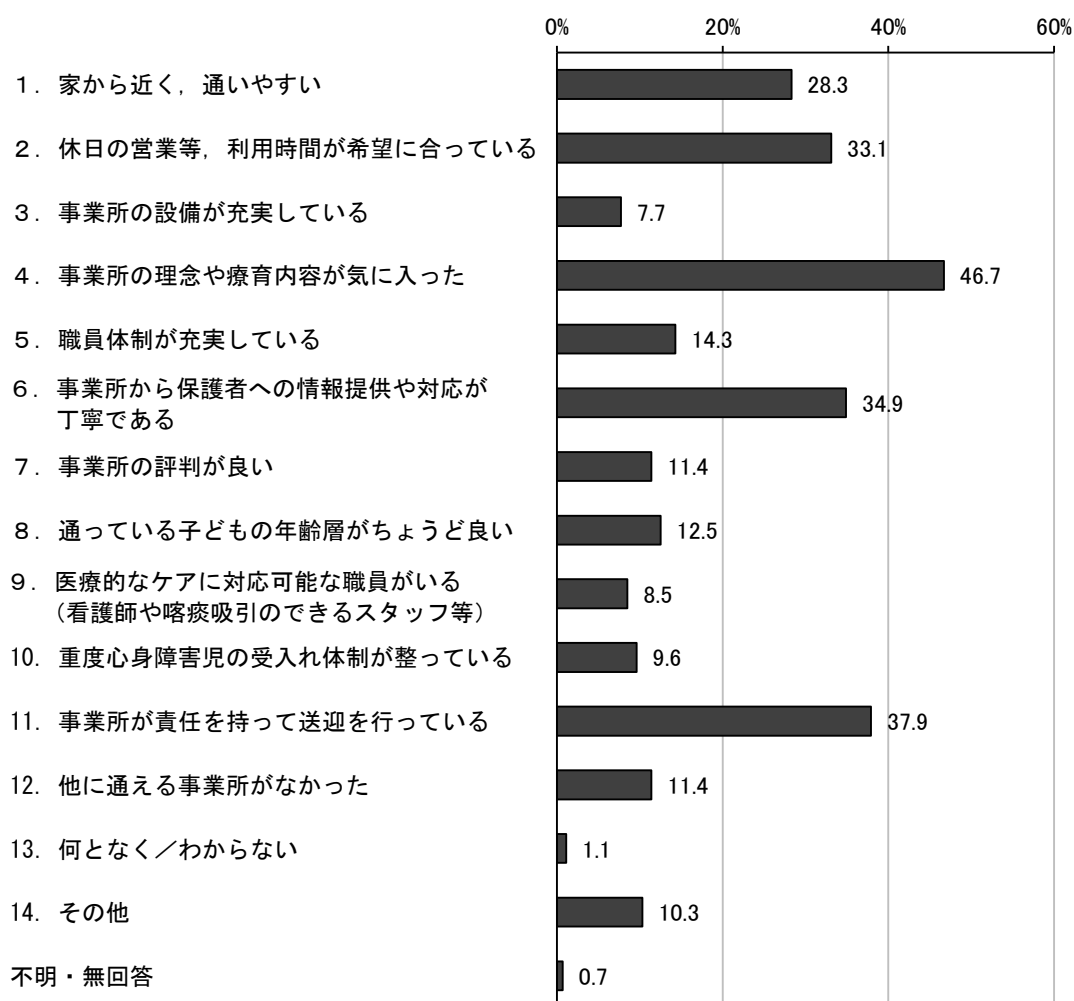
上段:件数 下段:%	合計	毎日	4日	2～3日	1日のみ	利用していない	不明・無回答	
全体	475 100.0	95 20.0	64 13.5	94 19.8	19 4.0	164 34.5	39 8.2	
医療的ケアの内容別	医療的なケアは受けていない	340 100.0	68 20.0	53 15.6	63 18.5	14 4.1	121 35.6	21 6.2
	人工呼吸器管理	12 100.0	0 0.0	0 0.0	4 33.3	2 16.7	5 41.7	1 8.3
	酸素療法	11 100.0	0 0.0	0 0.0	3 27.3	2 18.2	6 54.5	0 0.0
	気管切開部の管理	14 100.0	0 0.0	0 0.0	2 14.3	3 21.4	8 57.1	1 7.1
	たん吸引	30 100.0	2 6.7	1 3.3	12 40.0	3 10.0	11 36.7	1 3.3
	ネブライザー等による薬液吸入	12 100.0	2 16.7	0 0.0	5 41.7	1 8.3	4 33.3	0 0.0
	経管栄養(胃ろう)	20 100.0	2 10.0	0 0.0	8 40.0	3 15.0	6 30.0	1 5.0
	経管栄養(経鼻)	10 100.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0
	導尿	5 100.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0
	中心静脈栄養	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ストマ管理	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他	17 100.0	3 17.6	4 23.5	1 5.9	0 0.0	7 41.2	2 11.8

## エ 事業所の選択理由（問10-1）

「事業所の理念や療育内容が気に入った」が最も高く、5割近くを占めています。次いで「事業所が責任を持って送迎を行っている」が4割近く、「事業所から保護者への情報提供や対応が丁寧である」、「休日の営業等、利用時間が希望に合っている」と続いており、利用に関する条件面での項目の割合が高くなっています。

また、医療的ケアを受けている場合、多くの保護者が「医療的なケアに対応可能な職員がいる」を選択理由に挙げているとともに、医療的ケアを受けていない場合は「他に通える事業所がなかった」が1割に満たない一方、医療的ケアが必要な場合は平均して約5割と、医療的ケアを受けていない場合と比較して割合が高くなっています。

(N=272)



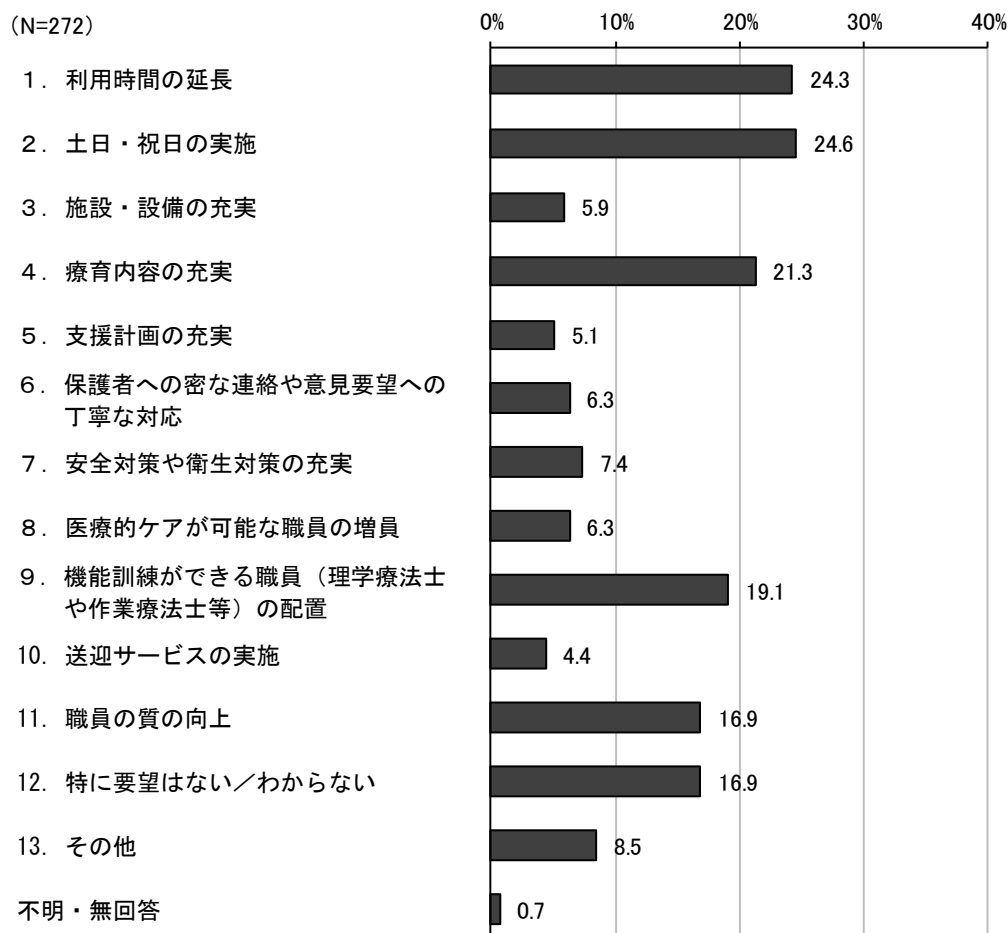
医療的ケアの内容別

上段:件数 下段:%	合計	家から近く、 通しやすい	休日の営業 等、利用時間 が希望に合っ ている	事業所の設備 が充実してい る	事業所の理念 や療育内容が 気に入った	職員体制が充 実している	事業所から保 護者への情報 提供や対応が 丁寧である	事業所の評判 が良い	通っている子 どもの年齢層 がちょうど良 い	
全 体	272 100.0	77 28.3	90 33.1	21 7.7	127 46.7	39 14.3	95 34.9	31 11.4	34 12.5	
医療的 ケアの 内容別	医療的なケアは受け ていない	198 100.0	60 30.3	68 34.3	15 7.6	93 47.0	31 15.7	71 35.9	24 12.1	28 14.1
	人工呼吸器管理	6 100.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	酸素療法	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	気管切開部の管理	5 100.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	たん吸引	18 100.0	5 27.8	2 11.1	0 0.0	6 33.3	0 0.0	1 5.6	1 5.6	0 0.0
	ネブライザー等によ る薬液吸入	8 100.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0	4 50.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0
	経管栄養(胃ろう)	13 100.0	4 30.8	0 0.0	1 7.7	3 23.1	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0
	経管栄養(経鼻)	6 100.0	2 33.3	2 33.3	0 0.0	4 66.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
	導尿	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	中心静脈栄養	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	ストマ管理	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
	その他	8 100.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	3 37.5	2 25.0	4 50.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数 下段:%	合計	医療的なケア に対応可能な 職員がいる (看護師や喀 痰吸引のでき るスタッフ等)	重症心身障害 児の受入れ体 制が整ってい る	事業所が責任 を持って送迎 を行っている	他に通える事 業所がなかっ た	何となく/わ からない	その他	不明・無回答
全 体	272 100.0	23 8.5	26 9.6	103 37.9	31 11.4	3 1.1	28 10.3	2 0.7
医療的 ケアの 内容別	医療的なケアは受け ていない	198 100.0	3 1.5	11 5.6	82 41.4	18 9.1	2 10.6	2 1.0
	人工呼吸器管理	6 100.0	6 100.0	3 50.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0
	酸素療法	5 100.0	5 100.0	2 40.0	0 0.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0
	気管切開部の管理	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0
	たん吸引	18 100.0	18 100.0	10 55.6	3 16.7	8 44.4	0 0.0	1 5.6
	ネブライザー等によ る薬液吸入	8 100.0	6 75.0	3 37.5	2 25.0	3 37.5	0 0.0	1 12.5
	経管栄養(胃ろう)	13 100.0	12 92.3	9 69.2	4 30.8	4 30.8	0 0.0	0 0.0
	経管栄養(経鼻)	6 100.0	6 100.0	1 16.7	0 0.0	4 66.7	0 0.0	0 0.0
	導尿	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0
	中心静脈栄養	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0
	ストマ管理	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	その他	8 100.0	0 0.0	0 0.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5

## オ 事業所に対する要望（問10-3）

保護者が就労している場合、「土日・祝日の実施」，「利用時間の延長」が最も多く挙げられており，就労していない（又はできない）場合，「療育内容の充実」，「職員の質の向上」といった支援内容に関する項目の割合が高くなっています。



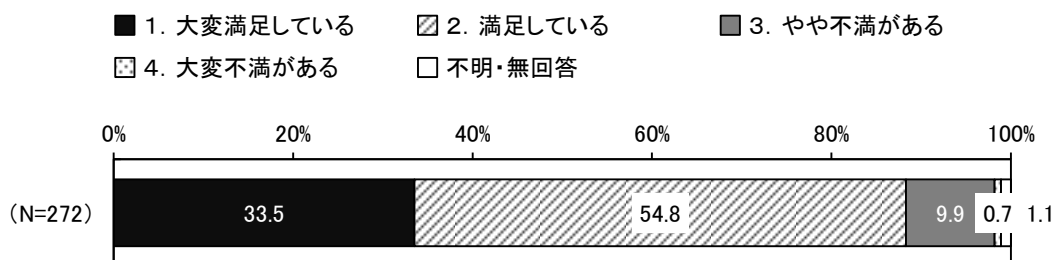
### 保護者の就労状況別

上段:件数 下段:%		合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実
全体		272 100.0	66 24.3	67 24.6	16 5.9	58 21.3	14 5.1	17 6.3	20 7.4
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	162 100.0	41 25.3	41 25.3	10 6.2	34 21.0	10 6.2	11 6.8	15 9.3
	パートで就労している	99 100.0	33 33.3	33 33.3	6 6.1	15 15.2	5 5.1	8 8.1	9 9.1
	就労していない	58 100.0	4 6.9	10 17.2	4 6.9	18 31.0	5 8.6	2 3.4	3 5.2
	就労したいができない	32 100.0	6 18.8	5 15.6	2 6.3	8 25.0	0 0.0	3 9.4	2 6.3
	その他	18 100.0	4 22.2	4 22.2	3 16.7	5 27.8	1 5.6	1 5.6	0 0.0
	全体	272 100.0	17 6.3	52 19.1	12 4.4	46 16.9	46 16.9	23 8.5	2 0.7
保護者の就労状況別	常勤(フルタイム)で就労している	162 100.0	10 6.2	28 17.3	9 5.6	28 17.3	29 17.9	15 9.3	2 1.2
	パートで就労している	99 100.0	3 3.0	21 21.2	3 3.0	15 15.2	14 14.1	7 7.1	1 1.0
	就労していない	58 100.0	5 8.6	14 24.1	3 5.2	4 6.9	15 25.9	5 8.6	0 0.0
	就労したいができない	32 100.0	3 9.4	5 15.6	3 9.4	10 31.3	3 9.4	3 9.4	0 0.0
	その他	18 100.0	1 5.6	5 27.8	1 5.6	5 27.8	0 0.0	3 16.7	0 0.0

## カ サービスの満足度（問10-2）

「大変満足している」と「満足している」を合わせると9割近くの方が満足している状況です。一方、「やや不満」、「大変不満」は1割程度となっています。

何らかの不満がある場合は、事業所への要望として「職員の質の向上」や「療育内容の充実」が多く挙げられています。



### 現在通っている事業所に対する要望 × 放課後等デイサービスの満足度別

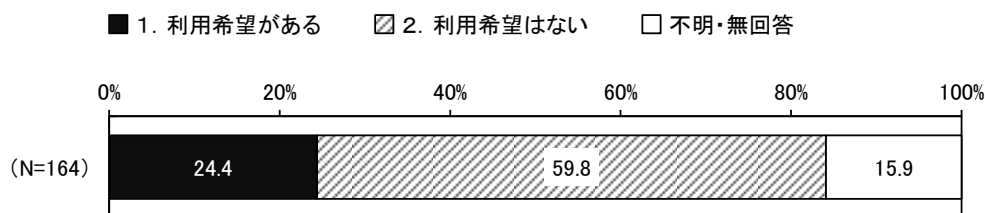
上段:件数 下段:%	合計	利用時間の延長	土日・祝日の実施	施設・設備の充実	療育内容の充実	支援計画の充実	保護者への密な連絡や意見要望への丁寧な対応	安全対策や衛生対策の充実	
全体	272 100.0	66 24.3	67 24.6	16 5.9	58 21.3	14 5.1	17 6.3	20 7.4	
放課後等デイサービスの満足度別	大変満足している	91 100.0	20 22.0	26 28.6	4 4.4	7 7.7	2 2.2	1 1.1	5 5.5
	満足している	149 100.0	40 26.8	36 24.2	11 7.4	40 26.8	8 5.4	11 7.4	11 7.4
	やや不満がある	27 100.0	5 18.5	5 18.5	1 3.7	10 37.0	4 14.8	5 18.5	4 14.8
	大変不満がある	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
上段:件数 下段:%	合計	医療的ケアが可能な職員の増員	機能訓練ができる職員(理学療法士や作業療法士等)の配置	送迎サービスの実施	職員の質の向上	特に要望はない/わからない	その他	不明・無回答	
全体	272 100.0	17 6.3	52 19.1	12 4.4	46 16.9	46 16.9	23 8.5	2 0.7	
放課後等デイサービスの満足度別	大変満足している	91 100.0	10 11.0	12 13.2	2 2.2	5 5.5	25 27.5	10 11.0	0 0.0
	満足している	149 100.0	5 3.4	36 24.2	8 5.4	29 19.5	18 12.1	9 6.0	1 0.7
	やや不満がある	27 100.0	2 7.4	3 11.1	2 7.4	11 40.7	1 3.7	3 11.1	1 3.7
	大変不満がある	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0

## キ サービスの利用希望（問10-4）

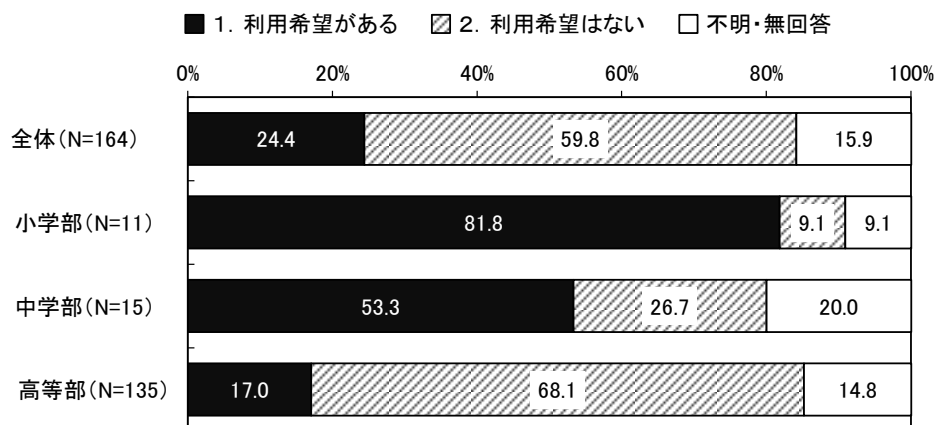
現在放課後等デイサービスを利用していない方のうち、2割台半ばの方が「利用希望がある」と回答しています。

医療的ケアを受けていない場合は「利用希望がある」は約2割であるが、医療的ケアが必要な場合、「利用希望がある」は平均して7割を超えています。

また、学校区分別にみると、学校区分が上がるほど「利用希望がある」の割合は低くなっています。



### 学校区分別



### 医療的ケアの内容別

上段:件数 下段:%	合計	利用希望がある	利用希望はない	不明・無回答	
全体	164 100.0	40 24.4	98 59.8	26 15.9	
医療的 ケアの 内容別	医療的なケアは受けていない	121 100.0	28 23.1	77 63.6	16 13.2
	人工呼吸器管理	5 100.0	4 80.0	1 20.0	0 0.0
	酸素療法	6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7
	気管切開部の管理	8 100.0	5 62.5	2 25.0	1 12.5
	たん吸引	11 100.0	7 63.6	2 18.2	2 18.2
	ネブライザー等による薬液吸入	4 100.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
	経管栄養(胃ろう)	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3
	経管栄養(経鼻)	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
	導尿	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	その他	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3

## ク サービスを利用しない理由（問 10-5）

サービスの利用希望があるにも関わらず利用していない理由については、「事業所の質に不安がある」、「通いたいと思える放課後等デイサービスがなかった」がそれぞれ3割前後となっています。

(N=40)

